



平成 25 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 黒田精工株式会社
代表者名 取締役社長 黒田 浩史
(コード番号 7726 東証 第 2 部)
問合せ先 経理部長 荻窪 康裕
(TEL 044 - 555 - 3800)

事業構造改革等に関する追加開示

9 月 27 日にお知らせいたしました「事業構造改革の実施及び業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ」に関し、機工・計測システム事業の構造改革に関する情報を追加開示いたします。

記

1. ツーリング事業の抜本的見直し・再構築

- (1) 刃具ホルダーの製造販売から撤退する。
- (2) (1)の内、汎用ツーリング商品については、台湾の世紀貿易グループに事業譲渡をする。対象商品に関わる製品在庫、仕掛品、機械設備等を有償にて売却する。
- (3) (1)の内、自動車ライン用・多軸機用ツーリングについては、他社に譲渡、もしくは製造販売を終了する。
- (4) 当社ツーリング事業は、クランピングユニット・エコセーバ・ハイドロリックツール等競争力のある商品に集中して継続する。ツーリング以外の継続商品であるゲージその他の機工・計測システム商品との一体的事業展開を加速する。
- (5) これら一連の事業構造改革に伴い当社にて不要となる設備・棚卸資産については廃却、減損処理等を行う。
- (6) 一部人員については他部門への再配置を行うが、会社としての人員削減は行わない。

2. 今回の決定の経緯および狙い

当社ツーリング事業は、1962 年に製造販売を開始して以来日本のツーリング業界を先導して来ましたが、その後競合が参入して来る中で、専用機用ツールから汎用 MC ツールへの需要のシフトの波に乗り遅れたことや、効率的量産体制の構築や海外展開に出遅れたこと等の原因が重なり、近年では事業規模もリーマンショック前のほぼ半分の水準まで縮小し構造的に不採算事業となっていました。

こうした状況を受け、ツーリング事業の構造改革と採算性の改善に取り組み、一定の成果が得られたものの、今後ツーリング事業を長期的に展望した際に、その競争ポジションの抜本的改善や規模の回復を期待することはできず、収益性をこれ以上更に大幅に改善することも困難な状況であると判断するに至りました。また今後とも国内において需要が長期に低迷することが見込まれる一方、新興国を含めた競合メーカーとの競争は一層激化するものと予想されます。

このような背景から、当社の限られた経営資源を差別化と成長性がある事業に集中するという経営方針に従い、今般上記のようなツーリング事業の抜本的再構築を行うことにしたものです。

3. 今回の事業構造改革に伴う当社業績への影響および今後の事業展開について

(1) 財務面での影響

別途適時開示したとおり、今回の事業構造改革に伴う事業譲渡損等による特別損失として約 136 百万円を見込んでおります。

なお、当社および当社グループの売上高、経常損益等への影響は軽微であります。

(2) 事業戦略面での今後の展開

- ・世紀貿易グループは、汎用ツーリング事業の譲渡後、台湾において譲渡対象商品の低コスト生産ラインを構築し、「KURODA/Winwell」ブランドで製造し、世界的に販売する意向です。当社は世紀貿易に対して必要な技術指導およびブランドの使用許諾を行い、世紀貿易におけるツーリング事業の立ち上げを支援するとともに、ライセンス料等その対価を受け取ることとなります。
- ・日本においては、世紀貿易グループが販売会社を設立し、当社の商権を可能な限り継承します。当社はこの販社に少数株主として参加し、円滑なる事業譲渡を全面的に支援します。
- ・ツーリング商品に関する今後の修理、メンテナンス等のアフターマーケット対応については、別途当社お取引様へご案内申し上げます。
- ・今回の事業構造改革に伴い、当社は機工・計測システム事業における経営資源の再配置＝成長事業への資源の集中を行い、「加工＋計測ソリューションのパイオニア」としての高付加価値・差別化商品展開を加速します。具体的には、北米のエネルギー関連市場における API ゲージや計測ソリューションへの本格的取り組み、昨年買収した Jena Tec とのシナジーによる海外市場開拓および新商品展開、超精密測定システムの更なる高精度化による拡販、戦略新商品による工作機械の拡販、各種要素技術を融合した新規ソリューションの開発等に注力して行く予定です。

4. 今後の事業構造改革スケジュール

2013年11月末	世紀貿易との詳細契約締結
2014年1月末	製造中止商品受注締め切り
2014年2月	世紀貿易日本販社営業開始
2014年3月	製造中止商品当社における製造出荷終了
2014年6月	世紀貿易(台湾)汎用ツーリング生産開始

<参考：世紀貿易グループについて>

世紀貿易グループは台湾に本社を置く企業グループで、台湾の各種グループ企業の他に中国本土に3つの事業拠点を有し、以下の主要事業を行っています。

- ・日本製工作機械、ロボットの輸入販売、サービス
- ・自動化機器、流体機器回路、工作機械周辺設備の輸入、設計、製造、販売
- ・工作機械、機械部品の加工、製造

グループ従業員は約200人、グループ年商は約50億円。(2011年)

今般のツーリング事業構造改革により、当社は一層競争力のある事業への経営資源の集中を図り、経営の効率化ならびに更なる高付加価値ソリューションの提供を目指して行く所存です。株主様、お取引先様、関係者各位の長年のご支援に感謝申し上げますとともに、今回の決定についてご理解を賜り引き続き当社事業をご支援頂きますようお願い申し上げます。

以上